

2014年度

U 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしろ。

中国の三国時代の歴史書『三国志』の1つである『魏志』倭人伝には、「倭人は帯方^{たいほう}の東南大海の中に在り、山島に依りて国邑¹⁾を為す。旧百余国、漢の時朝見する者あり。今使通ずる所三十国。郡より倭に至るには、海岸^{しんが}に循ひて水行し、……（イ）に至る。女王の都する所なり。」とある。この時代には、すでに中国大陸から朝鮮半島を經由して、九州や本州を結ぶ海陸の交通路が形成されていたと考えられる。その後ヤマト政権が成立すると山陽道・東海道・南海道などの幹線道路が整備され、7世紀前半の推古朝³⁾には、王宮や中央豪族の邸宅が造営されるなど、都としての体裁を整えた奈良盆地南部の（ロ）から難波に至る約4kmの大道が開かれた。

大化改新後の律令制下では、全国が畿内・七道に行政区分され、国・郡・里がおかれた。それにともない、都より諸国の国府へむかう幹線道路や国府から国内各地にむかう道路が整備された。これらの律令官道のうち、主要な幹線は京と「遠の朝廷^{とほのみかど}」と呼ばれた（ハ）のある西海道を結ぶ山陽道であった。官道には役人の往来の便宜をはかるため約16kmごとに駅家が設けられ、乗り継ぎ用の馬や宿泊施設が配備された。駅家は（ニ）をもつ公用の役人が利用できた。そして、都で謀反を企てた者の東国方面への逃亡や外敵の都への侵入を防止するため、東海道、東山道、北陸道に、いわゆる三関^{さんげん}がおかれた。

律令官道の諸施設は公用旅行者のものであったから、庶民は食糧や寝具まで携帯して旅行しなければならなかった。調・庸を運搬する者、北九州防備の防人や京を警備する兵士として派遣される（ホ）などの往来も盛んであったが、その労苦がいかに大きかったかは『万葉集』などから知ることができる。

鎌倉時代⁵⁾になると山陽道にかわって京と鎌倉を結ぶ東海道が重視されるようになった。鎌倉は「武者の都⁶⁾」として発展し、源頼朝が京都の朱雀大路になぞらえて整備したとされる（ヘ）大路を中心に計画的な街路がつくられ、市中は（ト）という行政区画に分けられた。また執権北条泰時の時代に、遠浅の由比ヶ浜の海岸に和賀江島という人工島をつくって港湾を整備し、海運で物資を鎌倉に集めることができるようにした。

鎌倉時代末期から室町時代にかけて、稲作を中心に農業生産が増大した。稲の品種改良が進んだだけでなく、人糞尿が肥料として使用されるようになり、農具の改良も進んだ。それにともない商工業が発展して遠隔地間取引が広まり、各地の港町⁷⁾を結ぶ交易網が整備された。

徳川家康は京都中心の交通体系を江戸中心に再編し、1601年には東海道の宿駅を定め伝馬制度を実施した。さらにこれを中山道⁸⁾などにも及ぼし、幕府が直接管理する五街道を整

備し、1659年に（チ）奉行において管轄させた。また民間の商品輸送が増えたため、脇街道と呼ばれる主要街道が全国的に整備された。五街道や脇街道には宿駅がおかれ、治安維持のために関所が設けられた。伝馬制度は旅行者には多くの便益を与えたが、人足や馬を徴発される宿や助郷村の負担は大きかった。

江戸時代には水上交通もいちじるしい発達をとげた。大量の物資を安価に運ぶには、陸路よりも海、河川、湖沼などを利用した水上交通の方が適していた。瀬戸内海は物資や旅行者に多く利用されたが、江戸～大坂間をはじめ廻船⁹⁾による貨物の運搬は盛んで、河川・湖沼も運行の可能なかぎり⁹⁾は利用された。（リ）は富士川や高瀬川などを開鑿し、河川舟運をひらいた。海上交通では、17世紀前半から菱垣廻船が運行を開始し、その後樽廻船の運行も始まった。

明治維新後の交通は、制度と交通機関の両面で大きく変容した。商品経済の発展と交通量の増大を背景に、諸道関門の廃止、津留の禁止などが相次いで布告され、宿駅制度も曲折を経たのち廃止された。1869年に東京～横浜間で始まった馬車営業は、1872年の宿駅制度廃止ののちは官営郵便制度と結びついて、東京～高崎間などでも開始された。

こうしたなかで道路¹⁰⁾の整備が進んだ。1876年には太政官布達により国道・県道・里道の三等級が定められ、以後各府県によって道路の整備が進められた。福島県令の（ヌ）は、会津若松と栃木県の今市、山形県の米沢、新潟県の水原を結ぶ会津三方道路の開鑿を計画した。¹¹⁾

1872年には新橋～横浜間に官設鉄道が開通し、1886～89年には私設鉄道会社設立ブームがおこった。1889年7月には官設の東海道線（新橋～神戸間）¹²⁾が全通し、1891年9月に日本鉄道が上野～青森間を全通させると、山陽鉄道、九州鉄道などの私設鉄道も幹線の建設を進め、日清戦争後には青森から下関まで鉄道が開業した。その後も私設鉄道の営業距離は延伸したが、1906年に鉄道国有法が公布された。¹³⁾

大正末期以降、自動車¹³⁾が普及したが、道路政策はさほどの進展をみなかった。モータリゼーションに対応した本格的な道路整備が進展したのは、第二次世界大戦後の高度経済成長期¹⁴⁾を迎えてからであった。トラック輸送の重要性が高まり、自動車保有台数が増加し、道路整備に対する要求が強まったからである。1965年には名神高速道路、1969年には東名高速道路が開通し、自動車の生産台数は飛躍的に増加した。鉄道では1964年の第18回オリンピック東京大会に間にあわせて東海道新幹線が開業した。これによって高速鉄道時代の幕が切って落とされ、先進国で斜陽産業とみなされていた鉄道が息を吹き返した。¹⁵⁾

A. 文中の空所(イ)～(ヌ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～15)にそれぞれ対応する次の問1～15に答えよ。

- これを編纂したのは誰か。その名をしるせ。
- この女王は魏に使者を送り、ある称号を贈られた。その称号の名をしるせ。
- この時代に関する記述として正しいのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
 - 漢字の使用がはじまり、さまざまな記録や出納・外交文書が作成された
 - 銅鐸などの青銅製の武器が、重要な祭器として初めて用いられるようになった
 - ヤマト政権の首長には、政権成立当初から天皇の称号があたえられていた
 - ヤマト政権の勢力は東日本には及んでいなかった
- このうち東海道におかれたのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
 - 愛発関 あらのせき
 - 鈴鹿関
 - 箱根関
 - 不破関
- この編者とされているのは誰か。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
 - 大友黒主
 - 大伴家持
 - 山上憶良
 - 山部赤人
- この時代の文化に関する記述として正しいのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
 - 西行は出家し、諸国を流浪しながら『東関紀行』を著した
 - 慈円は歴史を貫く原理をさぐり、『愚管抄』を著した
 - 道元はひたすら座禅に徹せよと説き、臨済宗をひろめた
 - 源実朝は万葉調の歌をよみ、『新古今和歌集』を編んだ
- このうち下の絵のように牛馬に引かせた農具を何と呼ぶか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。



- 唐竿
- 唐犁
- 唐箕
- 鍬

8. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 新居に関所を設けた
 - b. 江戸～京都間に53宿をおいた
 - c. 江戸～草津間に67宿をおいた
 - d. 小仏に関所を設けた
9. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 北前船は、三陸沿岸を經由して江戸に物資を輸送した
 - b. 樽廻船は、酒以外の商品も上積み荷物として低廉な運賃で輸送した
 - c. 日本海では、内海船と呼ばれる廻船が活躍していた
 - d. 菱垣廻船は、酒・油などを下関から大坂に定期輸送した
10. これを建議したのは誰か。その名をしるせ。
11. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 自由党の影響下にあった県会は賛成した
 - b. 改進黨の幹部で県会議長であった河野広中らが激しく反対した
 - c. 地域住民の多くは会津の発展に役立つと考えて歓迎した
 - d. 農民の負担が大きかったので、多数の農民が蜂起して反対した
12. この要因に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 大隈財政のもとで利子率が低下し、物価も安定した
 - b. 日本勸業銀行が設立され、産業界への資金供給体制が整えられた
 - c. 日本鉄道が政府の保護を受けて成功した
 - d. 日本郵船など海運会社が沿岸航路から撤退した
13. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. このときの総理大臣は西園寺公望であった
 - b. この年に第二次日韓協約が締結され、韓国の鉄道も国有化された
 - c. この年に南満州鉄道株式会社が設立された
 - d. これによって国有化された私設鉄道は17社であった

14. この時期の出来事として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 企業は減量経営に努め、マイクロ=エレクトロニクス技術を利用して、工場・オフィスの自動化を進めた
 - b. 米の消費が減少したため、農家所得は低下した
 - c. 朝永振一郎がノーベル化学賞を受賞した
 - d. 三菱重工の再合併など、大型企業の合併が行われた
15. この年の出来事として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 池田勇人内閣が「国民所得倍増計画」を決定した
 - b. 岸信介内閣のもとで日米相互協力及び安全保障条約が調印された
 - c. 佐藤栄作が内閣総理大臣となった
 - d. 高碓達之助が日中準政府間貿易の覚書に調印した

Ⅱ. 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしろ。

18世紀後半以降、ヨーロッパやアメリカでは産業革命が進んだ。産業革命は、機械制工業による大量生産を可能にし、生産手段を所有する資本家が、利潤獲得を目的に多くの賃金労働者を雇用する生産関係を生みだした。資本主義と呼ばれるこの経済体制は、大量の原料と製品の販売先（市場）を必要とした。そのため、巨大な生産力と軍事力を備えることとなった欧米列強は、海外市場と原料供給地を求めて¹⁾アジア諸国への進出を強化していった。

このような欧米列強の圧力によって開国を余儀なくされた日本は、近代世界のなかで自立した地位を占めていくために、欧米列強を目標に経済発展と軍事力の強化による近代化の道を歩みはじめる。以後、明治政府は、富国強兵をめざして殖産興業政策に力をそそいだ。政府はまず、資本主義経済への阻害要因をとりのぞくため、株仲間や関所の廃止、居住・職業の自由の承認などを実施して、封建的な諸制度を廃止した。1871年には（イ）条例を公布して貨幣制度を整備し、翌1872年には渋沢栄一らの案により、アメリカの制度にならった（ロ）条例が制定され、金融制度の整備が進められた。また1876年には、北海道の開発のため、アメリカの科学者・教育家である（ハ）を初代教頭として招いて札幌農学校を開校した。そして政府は官営模範工場を設立し、先進技術を導入することで工業の近代化をはかった。

1894年夏に始まった（ニ）戦争の勝利によって巨額の賠償金と新市場を獲得すると、日本でも緒に就いていた産業革命が進み、資本主義が本格的に成立するにいたった。それは、人びとの生活に大きな変化をもたらした。産業革命期からの日本社会の本格的な工業化は、工場制という近代的な生産組織を導入し、多くの工場労働者を生んだ。賃金労働者となった人びとは、市場で販売する商品を生産し、自分の生活に必要な消費財は市場を通じて購入するという生活をするようになった。

しかしながら、このような生産と生活の様式の変化は、さまざまな社会問題を発生させた。この時期の花形産業は繊維産業であったが、紡績工場や製糸工場の労働者の多くは、女工であった。その労働は²⁾過酷であり、農商務省が調査してまとめた『（ホ）』（1903³⁾年）には、紡績工場では二交代制の昼夜業がおこなわれ、昼の勤務時間は午前6時から午後6時まで、夜は午後6時から翌朝の6時20分までという12時間以上におよび、それぞれ朝・昼・夜食の時間が15分与えられるのみという実態が報告されている。休日・休憩時間が少ないうえに不衛生な労働環境のもと、過労で呼吸器病・消化器病などさまざまな病に倒れる者も多かった。他方、重工業や鉱山・運輸産業では男性労働者が多数を占めたが、

ここでも労働者は、過酷な労働条件のもと、低賃金と長時間労働を強いられた。

近代工業の発展は、公害問題も引き起こした。たとえば、栃木県の足尾銅山の鉱毒が渡良瀬川流域の農漁業に深刻な被害をもたらした足尾銅毒事件が発生した。栃木3区選出の衆議院議員であった（ヘ）は、議会で政府に銅山の操業停止を迫り、世論の喚起にも努めた。政府も鉱毒予防を銅山に命じたものの、銅の輸出を優先して操業を停止させなかったため、被害の範囲は広がっていった。

第一次世界大戦勃発による大戦景気のなかで、資本主義はさらに発展していく。第一次世界大戦が始まると、第2次⁵⁾ あ >内閣や元老の井上馨らは政治や経済のゆきづまりを打開する絶好の機会ととらえ、日英同盟を口実に参戦する。大企業は、大戦景気で巨額の利益をあげ、戦後恐慌のなかでも、同一業種の企業同士が生産量や価格を協定して利益を確保する企業連合である（ト）を結んで利益をあげ、経営基盤を強化した。さらに大企業は大銀行と結合し、生産と市場を独占する独占資本となった。その担い手は三井・三菱・住友・安田の四大（チ）などで、彼らはく い >を形づくって日本経済を独占的に支配していった。

大戦景気による空前の好況は資本家をうるおし、鉄や船や株でにわかに巨利を得る者を生みだし、こうした人びとは船（リ）、鉄（リ）などと呼ばれたが、その一方で、物価の急激な上昇で苦しむ多数の民衆が存在した。なかでも、都市人口が急増して不足していた米は、シベリア出兵による軍用米の増加を見込んだ投機商人の買い占めが横行し、その値段が急騰した。そして、1918年に起こった（ヌ）県の漁村の主婦たちの蜂起である女一揆をきっかけに、米価の引き下げを要求した米騒動が全国に連鎖的に広まった。民主主義を求める風潮が強まるなかで起こった米騒動は、多数の民衆を刺激し、さまざまな社会運動の展開を促した。こうしたことを背景に、1919年に相次いで雑誌が創刊され、⁷⁾労働問題や社会主義理論などが積極的にあつかわれた。⁸⁾

このような社会状況のなかで、学問の領域でも新たな学説が生まれた。憲法学の領域では、美濃部達吉が、天皇制のもとでも政党政治が矛盾なく成り立つように、統治権の主体を国家に置き君主権の制限を合理化する（ル）説を唱えた。政治学の領域では、主権の所在は何であれ、政治の目的は国民の「利福」の推進にあるとし、吉野作造が（ヲ）を提唱した。他の学問領域では、『善の研究』を著して脚光を浴びたく う >が、個人と社会の新たな関係を求めて東洋思想と西洋思想の統一をはかった。また、柳田国男が民間伝承の調査研究を通じて、「常民」（無名の民衆）の生活史を明らかにする民俗学を確立し、1910年に刊行された『く え >』は日本民俗学出発の記念碑的文献となった。

さらに、大正の末から昭和の初めにかけては、社会主義運動・労働運動の高揚にともな

って、プロレタリア文学運動が起こった。(ワ)が1929年に著した『蟹工船』は、その代表作である。この作品は、ワーキングプアと呼ばれるような貧困労働者がクローズアップされ、格差が広がっていく近年の日本社会の状況に鑑み、21世紀に入ってふたたび脚光を浴びることとなった。

A. 文中の空所(イ)～(ワ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<え>にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- | | | | | |
|-----|------------|----------|----------------|----------|
| <あ> | a. 板垣退助 | b. 大隈重信 | c. 西園寺公望 | d. 山本権兵衛 |
| <い> | a. コンツェルン | | b. ソーシャル＝ダンピング | |
| | c. ブロック経済圏 | | d. モラトリアム | |
| <う> | a. 片山潜 | b. 西田幾多郎 | c. 南方熊楠 | d. 和辻哲郎 |
| <え> | a. 一握の砂 | | b. 海に生きる人々 | |
| | c. 自然と人生 | | d. 遠野物語 | |

C. 文中の下線部1)～8)にそれぞれ対応する次の問1～8に答えよ。

1. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アヘン戦争では、イギリスはフランスと組んで出兵して北京を陥落させ、北京条約で11港を開港、自由貿易体制の拡大をはかった
 - b. アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーは日本に来航して強硬に開国を迫り、日米和親条約を結んだ後、琉球とも条約を結んだ
 - c. アロー戦争で清国に勝利したイギリスは、南京条約によって上海など5港を開港させ、香港島を奪った
 - d. 初代アメリカ総領事として来日したビッドルは、日米修好通商条約締結を強く求め、大老井伊直弼は勅許を得られないまま調印を断行した

2. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 官営模範工場であった富岡製糸場は、フランスの先進技術の導入をはかった
 - b. 当初は座繰製糸が中心だったが、1894年には器械製糸の生産高が上回り、欧米向けの輸出がさらに増大した
 - c. 農村の綿織物業では、豊田佐吉らが考案した国産力織機を導入して小工場に転換する動きが進んだ
 - d. 日露戦争後の1909年には、日本は清国に次いで世界第2位の生糸輸出国となった
3. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 甲府の雨宮製糸工場の女工たちは、日本最初の工場ストライキを起こした
 - b. 諏訪製糸同盟は、工女登録制度をつくった
 - c. 高野房太郎は『女工哀史』を著し、紡績女工の過酷な労働実態を明らかにした
 - d. 1900年頃の工場労働者の約6割が繊維産業で働いており、その大部分は女性であった
4. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 賀川豊彦は、都市下層社会への探訪や労働者の生活状況の調査をおこない、『日本之下層社会』を著した
 - b. 鉱山や土木工事の現場では、納屋頭が労働者を納屋に収容し、その生活まで管理する納屋制度が存在していた
 - c. 雑誌『日本人』が高島炭鉱の賃金労働者の劣悪な労働条件の実態を報じ、社会問題化した
 - d. 東京や大阪のような大都市では、下層民が集中して住む貧民窟が多数出現した

5. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 在華紡と呼ばれる日本人経営の紡績工場が、上海・青島などにさかんに設立された
 - b. 大戦中の期間だけで工業生産額は飛躍的に増大し、1910年代終盤には農業生産額をこえた
 - c. 鉄鋼業では、八幡製鉄所の拡張や、南満州鉄道株式会社が1918年に鞍山製鉄所を設立したほか、民間会社が相次いで創設された
 - d. 貿易額は急増するも、日本が債務国から債権国になるのは、1930年末まで待たなければならなかった
6. これに関連して、勤勉に働く労働者の賃金がなぜ上がらないのかを説き、「大阪朝日新聞」に『貧乏物語』を連載したのは誰か。その名をしるせ。
7. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 1920年、幸徳秋水らは日本社会主義同盟を結成した
 - b. 1920年には、日本初のメーデーが開催された
 - c. 1922年には、杉山元治郎らによって日本農民組合が結成された
 - d. 山川菊栄らは、1921年に社会主義婦人団体である赤瀾会を結成した
8. この年に創刊された雑誌でないのはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 宮本百合子らの『戦旗』
 - b. 長谷川如是閑・大山郁夫らの『我等』
 - c. 山本実彦の『改造』
 - d. 吉野作造・福田徳三らの『解放』

【以下余白】